



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第39回 通算1247回 平成24年4月24日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/10 修正出席率
		55名	37名	69.8%	100%

ゲスト：豊川RC 国際奉仕委員長 市川栄二さん ビジター：中杉和雄さん(豊川RC)

会長あいさつ

山城康司会長

歓迎のことば 大沢茂樹 R 情報委員



こんにちは。今日は新しい会員の入会です。今日の最高気温の予想は26度だそうです。季節の変わりで、暑かったり、寒か

ったりしていますので、皆さん健康には充分にご注意下さい。4月29日日本宮山道場を行いますので、ご参加下さい。

豊川宝飯RCとして大歓迎をさせていただきます。すでにロータリー経験があるとのことですので、2つだけ情報の提供をさせていただきます。日本のロータリーメンバーは現在9万人弱です。世界のロータリーメンバーは122万人です。ロータリーの歴史は素晴らしいものがあります。碧南RCに所属だったそうですが、碧南RCと豊川宝飯RCは、それぞれ特徴がありまして、違いがあります。是非、豊川宝飯RCの良さを発見していただいて、碧南RCの良さを、この豊川宝飯RCに披露して頂けたら有難いと思います。仲良くよろしくをお願いします。

幹事報告

滝下 勲幹事

例会臨時変更のお知らせ
ロータリー希望の風奨学金の報告について
次回の例会について

新入会員あいさつ

堀 敦会員

新入会員の入会式

東海東京証券豊川支店 堀 敦さん

推薦者の紹介 度会尚志会員

堀敦さんの紹介をさせていただきます。東海東京証券豊川支店の支店長さんです。46歳、名古屋生まれ、名古屋市育ちだそうです。前任者の波津久さんの転勤に伴って、豊川にられました。転勤に伴う会員の入れ替わりは、当クラブ初めてのことで

本日は、大変由緒ある豊川宝飯RCに入会させていただきます。大変ありがとうございます。サラリーマンの宿命ではありません

が、今まで支店長を務めました大垣支店では、大垣RCに2年間、碧南支店では、碧南RCに2年間お世話になりました。前任の波津久同様によろしくお願い致します。



バッジの贈呈

会長からロータリーバッジの贈呈

国際奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ 度会尚志委員長

今年度、地区のWCS委員会に出向させて頂いております。今年度で3年目となります。次年度もWCSを含めた国際奉仕委員会に出向することになりました。



今年度の地区の事業としては、ラオス国のサバナケットの保健科学短期大学学生寮増改築プロジェクトを行うと言うことで、クラブより10万円活動費として支出しました。本来なら4月ぐらいに学生寮の引渡し式が行われる予定でした。今日の例会では、このプロジェクトを報告する予定でした。工事が遅れており、6月中には引渡し式が行われる予定です。機会があれば、現地に行き、そして例会報告できればと思っております。

本日の例会は、同じWCS活動と言う事で、豊川RCが、台湾岡山RCさんと一緒にWCS活動をされておられます。昨年、東日本大震災発生に伴って、台湾岡山RCから義援金を頂いたとのことで、先週、お礼訪問を兼ねて台湾を訪問されたと聞きましたので、台湾岡山RCさんとの友好などお話を頂きたいと思ひ、本年度国際奉仕委員会の市川委員長に卓話をお願いしました。皆さん、ご静聴お願いします。

卓話「豊川RCの国際交流」

豊川RC国際奉仕委員長 市川栄二氏



こんにちは。今年、国際奉仕委員長を仰せつかりまして、先日、姉妹クラブの台湾岡山RCに親善訪問をして参りました。ロータリークラブ入会は3年前です。ですから、皆さんの方が大先輩ですので、皆さんの方がいろんな経験をお持ちだ

と思います。入会以来3年間、ずっと国際奉仕委員会に所属しておりますので、私が経験したことで、皆さんの参考になれば思っております。

豊川RCの姉妹クラブとの友好は1967年からの長い歴史があります。ロータリーの国際交流の礎としますと、国際奉仕総論、ロータリーの綱領に、奉仕の機会として知り合いを拓めること、奉仕の理想に結ばれた事業人と専門職務に携わる世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を維持することにあります。世界社会奉仕、WCSにおきましては、いろいろありますが、やはりクラブ対クラブ、地区対地区の直接交流によって行われております。WCSで培われたチームワークが姉妹提携クラブに発展し、両国の文化的、経済的な絆を強めます。

ロータリーには職業分類があります。共通の事業、相互クラブ会員の交流を図り、卓話によってお互いに理解することが、姉妹クラブ提携の基本ではないかと思っております。当クラブは、台湾と韓国に姉妹クラブがあります。機械金属分類による共通事業の交流によって、お互いに卓話の機会を設けたことが提携のキッカケです。

姉妹締結の歴史は、昭和45年9月に、台湾の岡山RCが姉妹締結調印のために日本にお見えになりました。42年前の事で、非常に歴史が古いです。そして、韓国の大邱達西RCとは、昭和52年5月にこちらから訪問して姉妹締結をしました。両クラブ共に、会員の事業所の交流から姉妹締結に結びついたと言う歴史があります。

姉妹クラブ締結の目的、意義は、姉妹クラブの地域の歴史や文化、教養、これは互いの言語、台湾語や韓国のハングル語の言葉の壁をいかにマスターしていくか、これも一つの目的であり、意義であると考えます。お互いのロータリアン同士の事業の良いところを学んでいくこと、観光やスポーツなどの見識の向上などで、会員相互の友好や親善が深めていけば一番に身近に親交が出来ると思いました。昨年、東日本大震災に台湾の岡山RCから、多額の、そしてまた一早く義援金をお届けいただきました。世界でいつ起きるか分からない大規模震災時の義援活動がWCSの大きな基本だと思います。そして、皆さん若い頃にJCで活動された方もいると思います。JC活動には年齢制限があり、年齢を過ぎる

と、ロータリーなど他の団体の会員になられると思います。そのJC活動中に築いた密接な関係を継続していくのが、姉妹クラブとしての大きな意義だと考えます。姉妹交流の条件としては、近隣の地域を選択し、密接な関係を築くために、定期的に訪問することが基本だと思います。

3年間、国際奉仕委員として感じた姉妹締結の課題としては、1番は、クラブ会員の姉妹締結への理解です。豊川RCは現在72名で、全員の理解を求めるのは無理ですが、理解してもらえるように努力することが必要です。2番目に、国際奉仕委員長の役割と活動です。該当年度中には様々なことがありますので、委員長の役割をキチッとしないと、会員のまとめることは難しいと思います。3番目に、締結クラブの地域の選択です。実質活動可能地域の選択が必要です。4番目に、相互クラブへの継続交流です。当クラブは、相互のクラブの締結期間は5年です。表敬訪問を5年周期で公式行事として行っています。それに加えて、先方からの親善訪問や、今回のような震災のお礼訪問などのケースもあります。この公式行事は、多少簡素化することが必要だと思います。お互いの大変な歓迎のしあいになってしまいます。半端ない歓迎ぶりです。これを現代流に簡素化することが必要だと思います。これには、日程の問題、お土産の交換、歓迎晩餐会のあり方など、お招きする時の受け入れ態勢、訪問する際のあり方、これをひと工夫する必要があります。

姉妹交流は、国際親善を深める意味で大変良いことだと思います。若い人たちが時流にあった企画をしていくことが継続していくためには必要だと思います。ご静聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

市川栄二さん 本日の卓話をします
 中杉和雄さん メーキャップに来ました
 度会尚志会員 本日の例会を担当します
 大沢茂樹会員 「ほこ×たて」に出ました
 内藤泰通会員 誕生日を祝って頂き
 堀田卓嗣会員 //

クラブ目標：会員増強純増	2名
クラブ目標：R財団寄付額	\$100/人
現在の状況	
会員増強	純増1名
R財団寄付額	\$81/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
 このウィークリーは再生紙を使用しています。